

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-246-7713

年度	令和3年度		
施設名	新潟市男女共同参画推進センター	所管部・課	市民生活部 男女共同参画課
施設の設置目的	男女共同参画推進センターは、新潟市男女共同参画推進条例に基づき、男女共同参画を推進する事業を実施するとともに、市民、事業者、市民団体の皆さんが取り組む活動を支援する拠点施設です。		

当初予算(千円)	当初人員(人)	作成日	R3.7.16
歳入	正職員 2	修正日	
歳出 10,941	会計年度任用職員 3	評価日	R4.7.21

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H30実績	R1実績	R2実績	R3目標					R3結果
1	市民	講座やフォーラムを開催することにより、市民の男女共同参画意識の向上を図ります。	主催講座延参加者数(単位:人)	962	798	621	630	564	前年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を減らして実施するため前年度実績を目標とした。	・アルザにいがた主催講座の開催	新型コロナウイルス感染拡大防止のため2講座を中止したことにより、参加者数は減少した。	C:未達成
2	市民		アルザフォーラム延参加者数(単位:人)	1,189	1,063	969	970	898	前年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大防止のため定員を減らして実施するため前年度実績を目標とした。	・アルザフォーラムの開催	基調講演では定員を超える申込みがあったが、当日のキャンセルが例年より多く、また上映会では昨年度と会場が変更になり定員が少なくなったため、参加者数が減少した。	C:未達成
3	市民		主催講座受講者の満足度(単位:%)	-	-	91.7	95.0	92.1	第4次新潟市男女共同参画行動計画の指標(R7年度末までに95%)を目標とした。	・アルザにいがた主催講座の開催	主に定年期の男性向けの講座での満足度が低かったため、全体の満足度が低くなった。	C:未達成
4	市民	男女共同参画を推進するための拠点施設「男女共同参画推進センター アルザにいがた」の認知度を高め、利用促進を図ります。	アルザホームページ閲覧件数(単位:件)	-	-	32,491	36,000	43,286	R1実績(36,236件)を目標とした	・アルザホームページの適時更新	市公式LINEで発信したアルザ情報の中のアルザホームページへのリンクからアクセスする人が大幅に増えたと思われる。	A:達成(優)
5	市民		アルザメール登録者数(単位:件)	396	464	531	584	597	前年度の5%増	・アルザメール登録者増加に向けた広報の実施	講座受講者などにメール登録を呼びかけ、新規の登録者を増やし、目標を達成することができた。	A:達成(優)
6	業務	「男女共同参画推進センターアルザにいがた」の情報機能を強化します。	情報図書室貸出冊数(単位:冊)	-	-	7,897	8,291	9,296	前年度の5%増	・男女共同参画関連の図書をオンライン館で予約・貸出・返却	ニーズを捉えた男女共同参画に関する図書の選書によって、アルザの図書・資料の貸し出し冊数が増えた。	A:達成(優)
7	人材	職員の研修参加により、人材育成を図ります。	年間研修参加回数(単位:回)	-	14	19	15	15		・男女共同参画等業務に関する研修に参加	オンラインによる研修に積極的に参加し、研鑽に励んだ。	B:達成

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
男女共同参画についての市民意識の向上を図るとともに、男女共同参画を推進するための拠点施設である「アルザにいがた」の認知度をさらに高め、利用促進を図るために講座等を行い、参加者数や受講者の満足度などを目標設定しています。	主催講座やアルザフォーラムは、新型コロナウイルスの影響で主催講座を2講座中止したことなどにより、前年度実績より参加者数が少なかったが、コロナ下でもオンラインを活用するなど参加しやすい工夫して実施した。受講者の満足度は92.1%と高い水準を維持できたものの、目標に達することができなかった。また、令和3年度はアルザにいがた開館30周年記念として、フォーラムの基調講演や分科会1などを実施し、アルザにいがたの認知度の向上や男女共同参画の啓発に努めた。講座の企画にあたっては、男女共同参画についての理解は深めてもらうという目的は維持しつつも、対象者のニーズを捉えた内容の企画に努め、対象者に合わせた広報を行っていく。 職員の人材育成については、職員各自がオンラインによる研修を受講し、研鑽に努め、講座の企画などに役立てることができた。引き続き、市民(企画委員・フォーラム実行委員)や関係団体と協働して、当事者の視点で市民ニーズを把握し、講座の満足度やアルザにいがた認知度向上に努める。